第三者意見

CSRレポート2009からご意見をちょうだいしているIIHOE「人と組織と地球のための国際研究所」代表川北秀人氏から第三者意見をいただきました。

当意見は、本レポートおよび関連ウェブサイト（http://www. yrc.co.jp/csr/）の記載内容、および同社の原料・資材調達、人事、総務、CSRの各担当者へのヒアリングに基づいて執筆しています。同社のCSRへの取り組みは、環境負荷の削減を中心に、着実にPDCA（マネジメント・サイクル）を進めていると言えます。

高く評価すべき点

・「YOKOHAMA千年の杜」プロジェクト（http://www.yrc.co.jp/csr/mori/index.html）について、開始からわずか5年間で、生物多様性の維持・改善に配慮した植樹を国内外で23万本以上行うとともに、その苗木の栽培も自社内で行い、11年度は78%を社内で供給するとともに、国内では自治体や他社にも7万本以上提供していること。特に、東日本大震災の被災地における「いのちを守る森の防潮堤」づくりに率先して協力していること。森林生態系や緑地の維持・改善のための社会貢献プログラムとして、世界最高の水準にあると高く評価するとともに、今後は、「YOKOHAMA千年の杜プロジェクト」サイトが、同様の取り組みを進める他社の事例も網羅的に紹介するポータルサイトへと進化することも期待します。

・生物多様性の保全（http://www.yrc.co.jp/csr/report2012/environment/biodiversity.html）について、10年度に実施した国内外計30拠点での事業所周辺予備調査を踏まえて、三重工場で本調査と従業員によるワークショップや地域住民への説明会を実施し、生態系と、そこに自社が与える正負両面の影響を正確に理解して取り組みを進めていること。今後は、他の事業所にも着実に同様の取り組みが広がることを期待します。

・CSR推進体制（http://www.yrc.co.jp/csr/outline/group.html）について、17年までの中期目標を定め、ISO26000の中核課題を参照した重要成果指標（KPI）を設けて取り組みを進めていることを評価しつつ、今後は国内外の現場からのボトムアップによる目標や施策が促されることを期待します。さらにその報告体制として、国内外のグループ会社の取り組みもさらに詳細に紹介するとともに、三重工場で生物多様性について始まったのと同様に、事業上の重要地域においてNPOなどと継続的な対話の機会を設け、ISO26000が求めるステークホルダー・エンゲージメントが促されることを期待します。

取り組みの進捗を評価しつつ、さらなる努力を求めたい点

・環境負荷の削減（http://www.yrc.co.jp/csr/report2012/environment/）について、再生粉末ゴムの使用量が前年比で約4割増加するなど、製品による環境負荷削減が進んだことを評価しつつ、廃棄物発生量と温室効果ガス排出量について、生産の回復を理由に前年比で大幅に増加したことを憂慮します。今後は、「生産量の変動に適応しうるエネルギー使用の非固定化」（エネルギーのジャストインタイム）化など、課題と手法の可視化を徹底的に進め、部門間や海外拠点でも体制の共有が進むことを、引き続き強く期待します。

・調達先におけるCSR（http://www.yrc.co.jp/csr/report2012/partner/）について、CSR勉強会の開催に着手し、購買行動規範を策定するなどの体制整備を進めたことを評価するとともに、今後は調達先による取り組みの改善を具体的かつ効果的に促すために、より詳細な取り組み状況の把握と、事例の共有・表彰、課題解決に向けて交流する体制を整えることを、引き続き強く期待します。

・働き続けやすさの向上（http://www.yrc.co.jp/csr/report2012/employee/employee4.html）について、出産育児休暇制度の新設により、育児・介護・看護のための休暇・休職・短時間勤務制度の利用者が横浜ゴム（株）従業員の2.60%に達したことを評価しつつ、今後は、介護休業取得経験者による事例紹介など、「休みながら働き続けられる」環境の確立に強く期待します。また、メンタル面でのケアについても、全社員対象のストレス診断の実施を評価しつつ、今後は予防のために、仕事以外の困りごとも相談できる窓口が設けられるなど、さらに効果的な対策が進むことを期待します。

・グローバル企業としての中期的な人的ポートフォリオの拡充について、グループ企業のマネジメント層職位の統一的な評価に着手したことを評価しつつ、今後も海外拠点や本社の次世代の経営層育成が加速されることを強く期待します。

・障碍を持つ従業員の雇用（http://www.yrc.co.jp/csr/report2012/employee/employee5.html）について、ヨコハマピアサポートの設立と特例子会社認可など体制整備が進んだことを評価しつつ、法定雇用率の達成と、障碍を持つ従業員の勤続年数をより長期化するための施策を、さらに積極的に行うこと。

IIHOE
「人と組織と地球のための国際研究所」
代表者
川北秀人

IIHOE：「地球上のすべての生命にとって、民主的で調和的な発展のために」を目的に1994年に設立されたNPO。主な活動は市民団体・社会事業家のマネジメント支援だが、大手企業のCSR支援も多く手がける。
http://blog.canpan.info/iihoe/（日本語のみ）

第三者意見をいただいて

IIHOE代表（人と組織と地球のための国際研究所）川北秀人氏には、環境負荷の削減課題をはじめとして、企業として取り組むべき社会貢献活動や東日本大震災支援活動など多岐にわたる課題についてご指導いただきました。

環境負荷の削減については、再生粉末ゴムの使用量をさらに増加させるなど「製品による環境負荷削減」に引き続き取り組んでまいります。

また、生産量の変動に適応するエネルギー使用の非固定化「エネルギーのジャスト・インタイム化」など「課題と手法の可視化」を海外拠点でも体制の共有化を進めてまいります。

「働き続けやすさの向上」については、休みながら働き続けられる環境の確立やメンタル面の効果的なケアができる相談窓口の設立および障碍を持つ従業員の勤続年数をより長期化するための施策等に引き続き取り組んでまいります。

取締役常務執行役員
CSR本部長
川上　欽也